令和元年度　鳥取県PTA研究大会
兼　令和元年度　とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム

「深めよう子どもたちとの絆　広めよう地域との絆　見せよう大人の絆」

【令和元年 12 月１日　国府町コミュニティセンター】

12 月１日、鳥取県ＰＴＡ研究大会が国府町コミュニティセンターにて開催されました。

今年度は「深めよう子どもたちとの絆　広めよう地域との絆　見せよう大人の絆」をテーマに、「令和元年度とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム」と同時開催で、単位ＰＴＡ独自の取り組みの実践事例発表や電子メディアとの関わり方についての講演会が行われました。

実践事例発表

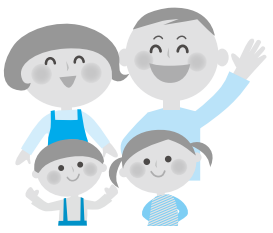
鳥取市立東郷小学校

児童数 31 名という小規模校が、学校存続させるための取り組みを実践発表して下さいました。

小規模校転入制度の導入やＰＴＡ役員選出に選挙制を取り入れるなど時代に合わせた見直しを随時行い、保護者が全力で関わりサポートする体制を構築されていました。

★参加者アンケートより★

- 大人も子どもも地域の方も元気になる素敵なものでした。
- 少ないからではなく少ないからこそをもっと考えられそうです。　等々…



鳥取市立城北小学校

市内全児童対象の、メディアに関するアンケート調査の結果、大変な状況であることが判明し、学校と相談しＰＴＡ広報紙で特集として取り上げる取り組みを発表して下さいました。

限られた紙面のなか、アンケート結果の掲載だけでなく座談会での生の声を取り上げ、依存度テストなど複数回にわたって特集を組み「どうやって子どもたちをメディアからまもればいいのか」を模索されていました。

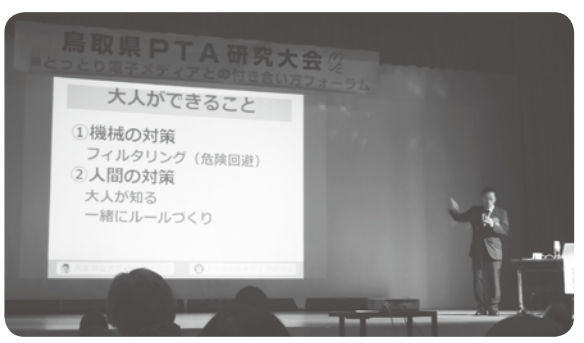
★参加者アンケートより★

- 広報部の活動現状をどう伝えていくのか、いろいろ考えられていてすごいと思いました。
- わが校でも同様の問題をかかえており、大変参考になった。

等々…

講演会

講演会は、ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員の竹内義博氏にお越し頂き、ＳＮＳトラブル、ネット炎上、個人情報等の各種トラブルサイバー犯罪等の事例を解説し、子どもたちをインターネットで被害者にも加害者にもさせないための対策、取り組み、ルール作りについてお話し頂きました。関西弁の親しみ易い語り口で事例などを丁寧に説明して下さり、会場の皆さんが真剣に聞き入っておられました。



★参加者アンケートより★

- 知らないことだらけでした。講演を聞いて本当に良かったです。　もっとたくさんの人に聞いてほしいです。自分も周りに話し伝えていこうと思います。
- 単にダメというだけではなく、使い方という部分で考えることができた。
- ぜひ単Ｐの講演会にお呼びしたいと思った。

等々、本当にたくさんの方々に「大変良かった」の評価を頂きました！

県ＰＴＡ広報とっとり

令和2年3月2日
83 号

CONTENTS

このロゴマークは八橋小 PTA の中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・鳥取県ＰＴＡ研究大会

【P2】
・平成 2 年度鳥取県教育予算等に関する要望書提出
・中国ブロック研究大会広島県広島大会
・日本ＰＴＡ三行詩コンクール表彰

【P3】
・とっとり子どもサミット

【P4】
・ＰＴＡ広報紙コンクール表彰
・県優秀広報誌の取組

編集・発行
鳥取県 PTA 協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

鳥取県 PTA 協議会

「令和2年度鳥取県教育予算等に関する要望書」を鳥取県教育長に提出

12月24日（火）、鳥取県ＰＴＡ協議会として、来年度の鳥取県教育行政についての要望事項を山本仁志教育長に手渡しました。

山本教育長からは、教職員の配置については国の定数を上回る配置をしていること、教職員の働き方改革の推進、教職員をめざす人材を増やすために島根大学と連携しての取り組み、ＩＣＴを利用した教育の推進、防犯のためのスクールガードリーダーの活用などのお話を伺いました。

あわせて、鳥取県議会の会派を訪問させていただき、来年度の予算要望について説明の機会をいただきました。

要望事項とそれに対する回答につきましては、鳥取県ＰＴＡ協議会ＨＰに掲載しておりますので、詳細はそちらをご覧ください。

鳥取県ＰＴＡ協議会
会長　**橋本　恒**

第49回　日本PTA中国ブロック研究大会　広島市大会

令和元年11月２日(土)　広島国際会議場　フェニックスホール

伝えよう思いやりの心　広げよう平和のまち広島から
～未来へ生きる子どもたちのために　Peace!～

中国ブロック大会への参加は今回で４回目でした。今大会は一貫していじめをテーマにして発表が行われた点が、過去に参加した大会との違いだったように感じます。

実践発表ではまず、広島市内の３つの中学校の生徒会によるいじめ問題への取り組みが発表されました。各校とも自分たちの学校での『いじめ問題』に真剣に取り組み、どうしたらいじめがなくなるかをテーマに主体的に取り組んでいるところが印象的でした。

また、広島市 PTA 協議会の実践発表では、いじめ問題大人サミットとして、いじめ問題を保護者の責任として対応するためのグループディスカッションを実施した様子が報告されました。子どもたちの取り組みと大人の想いを情報共有することで、活動の方向性がはっきりとわかり、いじめ撲滅にむけて本気で取り組んでおられ、とても参考になりました。

午後からは、アトラクションとして千田小学校合唱隊のコンサートから始まりました。被爆樹木カイヅカイブキから作られたパンフルートという楽器の演奏と子どもたちの歌声がとても素晴らしかったです。

続いて、戦場カメラマンの渡部陽一氏から『世界からメッセージ～未来へ生きる子どもたちのために～』と題して記念講演が行われました。テレビでおなじみのゆっくりとした口調で、ステージ上を右へ左へと移動しながら、たくさんの写真とともに戦争、紛争の現場から見えてくるメッセージを伝えてくださいました。特に印象的だったのは、どんなに過酷な状況においても子どもたちの笑顔が本当に愛らしいということです。未来のために真実を伝えていくことの大切さと、それを目にしたときに何を感じ、どう生きるべきかを改めて考える時間をいただいた講演でした。

大会に参加して、運営にかかわられた多くのスタッフの皆さんの熱意を感じることができました。また、研究大会は他県での PTA の取り組みを直接聞ける数少ない機会だと思います。実践発表で得たものを自分たちの取り組みに反映することもできます。一緒に参加した保護者同士で情報交換をし、交流を深めることもとても良い経験になりました。今後の大会にもぜひ、たくさんの方に参加していただき、何かを感じ取っていただければと思います。

西伯郡小学校 PTA 連合会（大山町立名和小学校）
会長　米原真由美

記念講演

演　題「世界からのメッセージ
～未来へ生きる子どもたちのために～」
講　師　渡部　陽一氏
プロフィール
1993年　アフリカ、ザイール内戦の取材に始まり、今では世界各地で100を超える国や地域を訪れ、今なお取材活動を継続中。
テレビ、ラジオにも多数レギュラー出演する中、紛争地域の惨状を伝える写真展なども精力的に行う。
著書「報道されなかったイラクと人々」（新風舎）他

おめでとうございます！
日本 PTA 協議会三行詩コンクール 鳥取県 PTA 協議会会長賞！

「楽しい子育て全国キャンペーン　三行詩コンクール」の鳥取県PTA協議会会長賞の表彰式を行いました。
今年も３～６月に三行詩コンクールの募集を行います。
たくさんのご応募、お待ちしております。

小学生の部
鳥取市立瑞穂小学校
２年　**竹　本　圭　吾**さん

一般の部
鳥取市立桜ヶ丘中学校
保護者　**寺　坂　雄　司**さん

「とっとり子どもサミット～電子メディアとのより良い付き合い方編～」開催！

本年で 3 年目となる「とっとり子どもサミット」を開催しました。（主催：鳥取県 PTA 協議会、鳥取県教育委員会、鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会）

インターネットの急速な発達と、スマートフォンやゲーム機などの生活への浸透により、多くの子どもたちが日常的に電子メディア機器に接し利用する場面が多くなっています。親しみやすく便利で楽しいものである反面、友人関係のトラブルや生活習慣の乱れなどの課題も深刻化しています。

「とっとり子どもサミット」では、子どもたちが自ら主体的に電子メディア機器との付き合い方を考えることができるよう県内 3 会場（東部、中部、西部）でワークショップを行いました。まとめ役である鳥取環境大学の学生に助けられつつ、自分たちで考えたルールを作って発表しました。

子どもサミット　各地区ブロックでの話し合いは？

東部地区

令和元年 6 月22日（土）
国府町コミュニティセンター
参加者：小学生12名、中学生 1 名、保護者14名

テレビのルール
- 1 日30分
- 8 時以降はテレビを見ない
- ご飯のときは見ない
- 2 m以上遠くから見る

ゲームのルール
- 1 日 1 時間
- 明るくしてする
- あまり近くで見ない(30cm以上)
- 親の見える所でする

テレビやゲームなど、それぞれのメディア機器の特徴にあわせてルールづくりができているね。
時間や場所、距離が数字で書いてあって、とてもわかりやすい！

中部地区

令和元年 6 月29日（土）
倉吉体育文化会館
参加者：小学生 3 名、中学生 1 名、高校生 1 名、保護者 6 名

テレビのルール
- 1.5m離れる
- 座って見る
- 宿題をするときは見ない
- 9 時以降は見ない（録画）

ゲームのルール
- 1 日 1 時間
- 宿題をやってから
- 明るい所でする
- 家族がいる所でする

テレビやゲームは楽しいけど、使いすぎると寝不足になったり、宿題ができなくなったりするよね。
ダラダラ見るのではなく、時間を決めて見るようにしよう！

西部地区

令和元年 6 月 9 日（日）
米子コンベンションセンター
参加者：小学生 4 名、中学生 2 名、高校生 1 名、保護者28名

スマホを使うルール
- 時間を決めて使う（2 時間が目標）
- 使い終わったら置く場所を決める
- 宿題をしてからにする
- 親に合わせる
- 守れなかったら家の手伝いをする

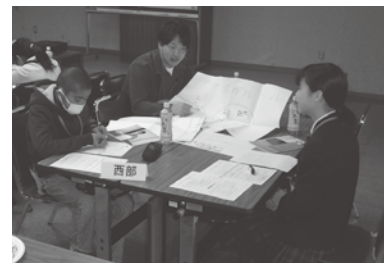
中高生になるとスマホを使うことが増えるね。
でも将棋やボードゲームなど、家族と一緒に楽しむ時間を持ってみよう。団らんの時間があると学校での出来事を家族で話せるよ。悩んでいることへの道が開けるかもしれない。
ネットの世界はものすごいスピードで変化しているから、大人も正しい知識を持つことが大切だね。

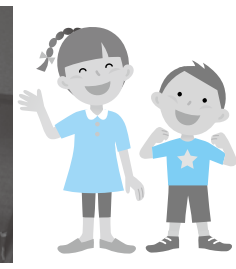
子どもサミット 成果を発表！

令和元年 12 月 1 日　国府町コミュニティセンター

6 月に東部、中部、西部それぞれで開催されてきた「とっとり子どもサミット」。県 P 研究大会での実践発表にて、今年度の取り組みを締めくくりました。当日、朝から集まった参加児童・生徒らは、これまで話し合ったこと、実践してきたことを発表するため、原稿を作ったり、発言の練習をしたりと余念のない準備をしていました。ステージ本番では、自分達の意見を堂々と発表しました。

鳥取県 PTA 協議会では、子どもたちの健全な成長を図るため、今後もこうした取り組みの輪を広げていきたいと思っています。





～　鳥取県 PTA 協議会では「メディア 21：00 運動」に取り組み、21 時以降の SNS 等を利用しないルールを啓発しています　～

おめでとうございます！

文部科学省表彰
日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰
全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール表彰

令和元年 11 月 15 日ホテルニューオータニ（東京）において表彰式が行われました。受賞された皆さん、おめでとうございます！

文部科学省表彰・日本 PTA 表彰団体の部

鳥取市立美保小学育友会
倉吉市立久米中学校ＰＴＡ

日本 PTA 表彰個人の部

福壽みどり（鳥取市中学校 PTA 連合会）
山下　慎治（東伯郡中学校 PTA 連合会）

日本教育新聞社社長賞

「かじか」三朝町立三朝中学校

家庭教育新聞社社長賞

「城北」鳥取市立城北小学校

佳　作

「茶臼山プレス」北栄町立北条小学校

おめでとうございます！
第41回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール入賞

鳥取県 PTA 協議会から 3 校の広報紙が入賞されました。令和元年 11 月 15 日（金）にホテルニューオータニ（東京）で表彰式が行われました。
受賞校の広報紙について工夫されていることをお聞きしました。

三朝町立三朝中学校
広報紙「かじか」

【発行回数】年間 3 回
【部員数】保護者 10 人、先生 3 人　全 6 クラス各クラス 1 名
【部　会】年 6 回
【広報誌作成の流れ】
部会では、保護者からのさまざまな意見を踏まえて広報紙を作成することを工夫しています。
学期ごとの行事を掲載するとともに、１年を通してのテーマで今の PTA の方に興味がある内容を決定し情報提供を行いました。令和元年度は１年を通してのテーマとして「子どもを取り巻くネット事情」を掲載しました。ご家族でネットのルールや考え方を再度話し合っていただくいい機会になれば幸いかと思っています。
【表彰式に参加しての感想】
現広報部長としてこの式に参加し、表彰状の授与を受けました。全国の受賞者が一堂に会し、盛大な授賞式でした。このような賞を広報紙「かじか」が受けるのをうれしく思いました。
この賞を受けることができたのも PTA 関係者のみなさん、先生方のご協力のたまものだと感じています。

どの学校も多くの部員さんの努力ですばらしい広報紙が作成されています。紙面掲載のテーマについて部員さんが話し合うことそのものが、ＰＴＡ活動のもとになっていますね。

城北小学校
広報紙「城北」

【発行回数】学校の先生紹介号・定期発行 3 回
【委員数】執行部 1 名、委員長 1 名、副委員長 4 名、委員 19 名（各クラス 1 名）、計 25 名
【委員会数】年 5 回
【工夫している事】
先生の紹介号は、正副委員長で作成。3 回を夏・冬・春休み前の発行予定とし 2 学年でペアになりリーダー・印刷係を決め、副委員長がフォローに当たりながら作業。アンケートは、学校の協力のもと確実に進め、回収率はほぼ 100%。
メディアについて 2 年間特集を組む。昨年度は市内全小学校で実施したアンケートの結果をもとに広報誌で啓発。今年度は 2 年の経年比較をするために、同じアンケートをＰＴＡが実施し、集計・啓発を行った。メディアの危険性を研修会等に参加し独自で調べ、各家庭の様子などを見聞きし、少しでも多くの家庭に危険性、現状や対策方法などを伝えました。今後も進化していくメディアの現状をキャッチし危険性などを継続して紙面に載せていく予定。限られた紙面の中で、一つのテーマに沿って記事を作る作業の難しさ、伝えたい情報が多い反面、掲載しきれないもどかしさなど、作成してみなければ分からない事を体験。学校広報誌のあり方やその必要性について深く考えました。
【委員さんへの配慮】
なるべく自由に動いてもらい、委員さんの負担も考えながら困ったことがあればすぐに想いに沿うように考えている。また、忙しい日々の中、気軽に手に取って頂けるよう、紙媒体として広報誌を発行し続けたいと感じてます。
【表彰式に参加して】
今年度は 42 受賞校のうち 3 校が鳥取県から選出されており、その代表の方たちと少ない時間の中で語り合ったことは、私の表彰式での１番の宝物です。

北栄町立北条小学校
広報紙「茶臼山プレス」

【発行回数】年間 4 回
（そのうち 2 回小中合同企画の掲載）
【部員数】全 15 クラスで各クラス 2 ～ 3 名
部長・副部長（２名）含め約 30 名程度
【部　会】約 20 回　各号 5 回程度
【広報誌作成の流れ】
年度当初の部会で年間テーマを部員同士で提案し、話し合って決定・打ち合わせ（各号担当者）
各面（1 ～ 3 面）の記事の内容、各記事の担当者、おおまかな紙面の配分を決めます。
ここでの話し合いが、広報誌作成の上で最も重要だと考えています。今、ＰＴＡ会員の中で話題になっている事、興味・関心のあることを部員同士で雑談のように話しながら内容をまとめる。
〈1 面〉読み手の興味をひくような、発行時期に合わせた内容のものや、タイムリーな話題〈2 面〉年間テーマに沿った内容の特集〈3 面〉子どもたちの学校での様子、取り組みのお知らせ、茶臼のささやき（家庭でのささいな出来事、子育て真っ最中の今に感じることがらなど・各号担当者全員）を掲載。
【工夫している事】
ＰＴＡ会員だけでなく地域の方にも関心を持ってもらえるよう全戸配布を行っています。誰にでも見やすく、わかりやすい広報誌を目指しています。
【表彰式に参加して】
全国広報紙コンクールの表彰式に出席させていただき、ありがとうございました。これも、広報部やＰＴＡの皆さんのおかげです。これからもいい広報紙を皆さんと作っていきます。

鳥取県 PTA 協議会　小・中学生 総合保障制度（こども総合保険）

2020 年 1 月現在の内容です

★お子さまがケガ!?
ケガは 24 時間補償
（熱中症・細菌性食中毒も補償）

★学校へ携行する持ち物への備え
学校管理下不動産補償
（身の回り品補償）　※Ｊプランを除く

団体契約なので掛金が
約 39%割安 !!

★お子さまが加害者に!?
個人賠償責任補償
※登下校中だけでなく日常生活中の自転車事故による第三者への損害賠償責任 も補償 。

詳細は鳥取県ＰＴＡ協議会　小・中学生総合補償制度のパンフレット、補償概要等をご覧になるか引受保険会社にお問い合わせ下さい。

【引受保険会社】　AIG 損害保険株式会社 松江支店　島根県松江市伊勢宮町 519-1　大同生命ビル６F
TEL.0852-26-2781　FAX.0852-26-2776　（受付時間:午前9:00～午後５:00　土・日・祝日・年末年始を除く）

S－200258　有効期限 2021 年 1 月

ＰＴＡ活動中の団体保険
（PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険）

PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

例えば保険ってどんなときに支払われるの？

☆PTA団体傷害保険
・所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
・所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。

☆PTA管理者特約付賠償責任保険 ※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。
・所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ飛び石により駐車場に停車中の車にキズをつけてしまった。
・所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントが生徒にあたりケガをしてしまった。

このチラシは「PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険」の概要を説明したものです。
詳しい内容につきましてはパンフレットをご覧ください。
なお、ご不明な点は、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

●取扱代理店
株式会社 スマイル保険サービス
〒680-0822 鳥取市今町2丁目286番地
TEL 0857-51-1033 FAX 0857-51-1034
＜受付時間＞平日：午前9時から午後5時まで

●引受保険会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ日ノ丸総本社ビル2F
TEL 0857-23-3301 FAX 0857-27-1510
＜受付時間＞平日：午前9時から午後5時まで

【事故サポートセンター】
0120ー727ー110
【受付時間】24時間365日
(SJNK19-01215 2019.12.10)